

風しんの流行状況及び風しんワクチン の需給状況について

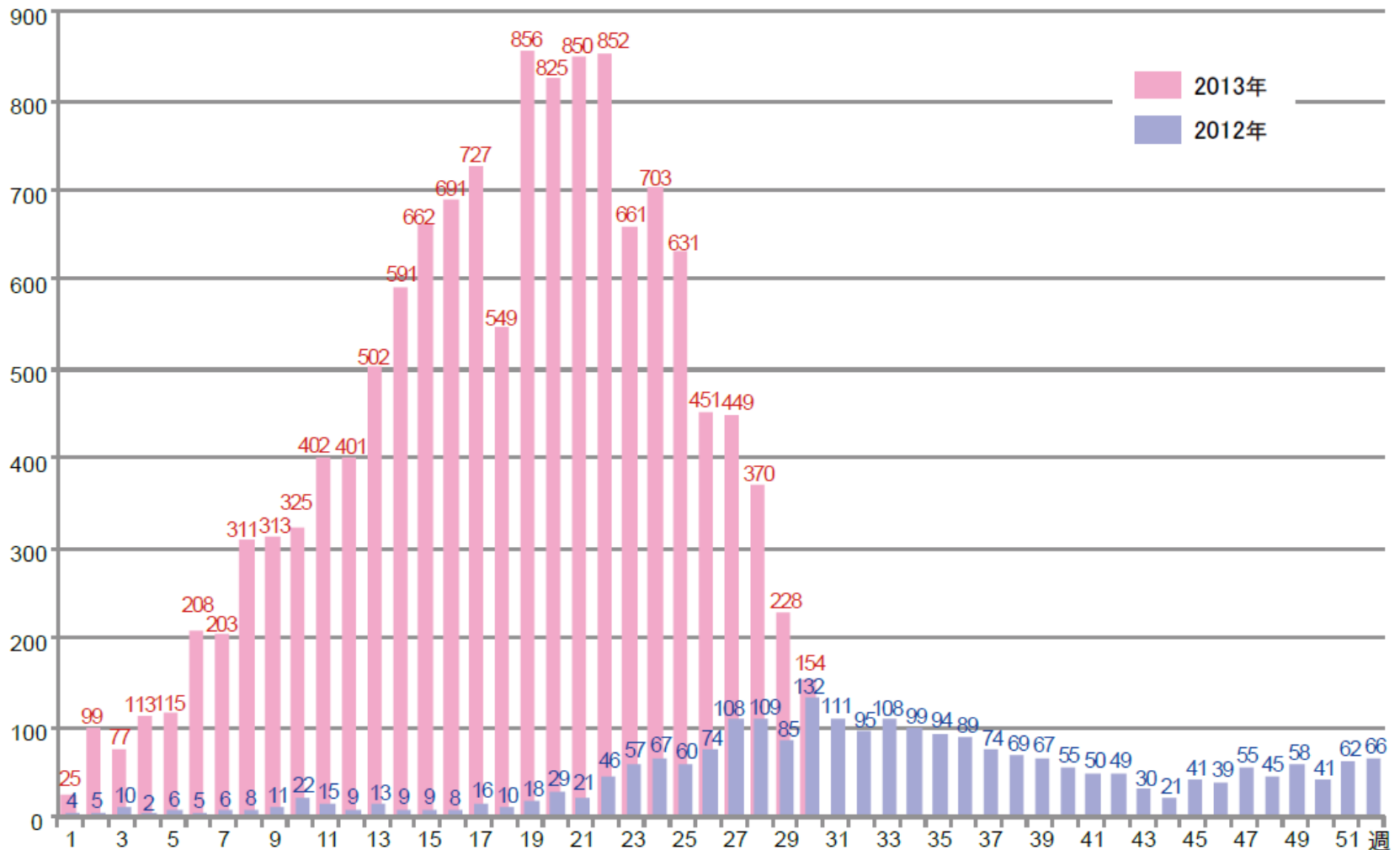
厚生労働省 健康局

結核感染症課 予防接種室

平成25年8月9日

第4回予防接種基本方針部会

風しん患者報告数(2013年1-30週)



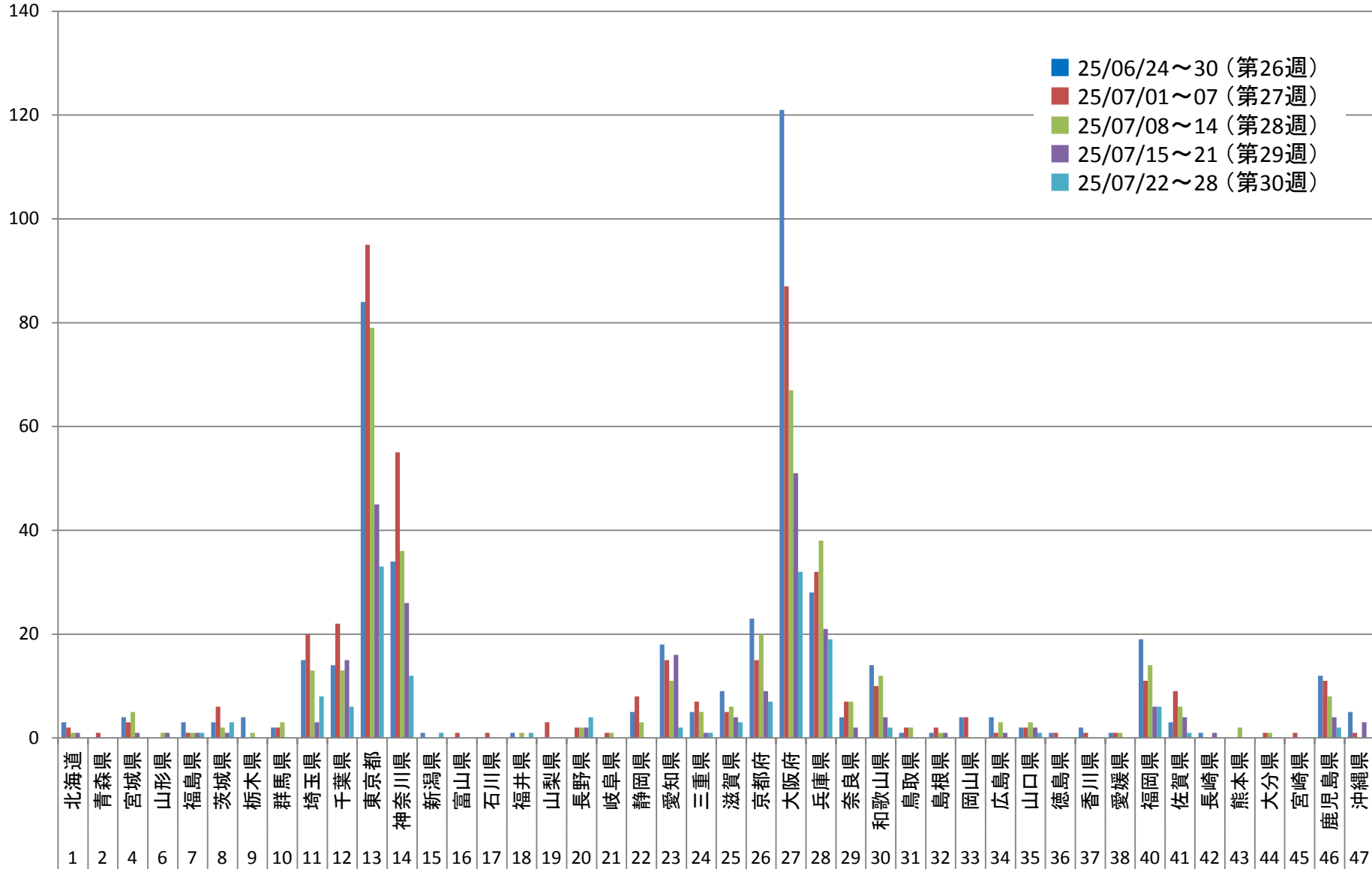
診断週にもとづいた報告

感染症発生動向調査 2013年7月31日現在

国立感染症研究所感染症疫学センター作成

都道府県毎の風しん報告数(7月30日時点)

第26-30週(6月24日～7月28日)



平成25年度の風しん任意接種の状況

- これまでの任意接種数は年間約30万回(24年度は約47万回)
- 今年度の任意接種数*：

4月約9万回、5月約32万回、6月約36万回と急増
一方、7月には約15万回まで減少

* 医療機関への納入実績より推計

7月31日時点で約67万本の在庫(医療機関の在庫を含まず)

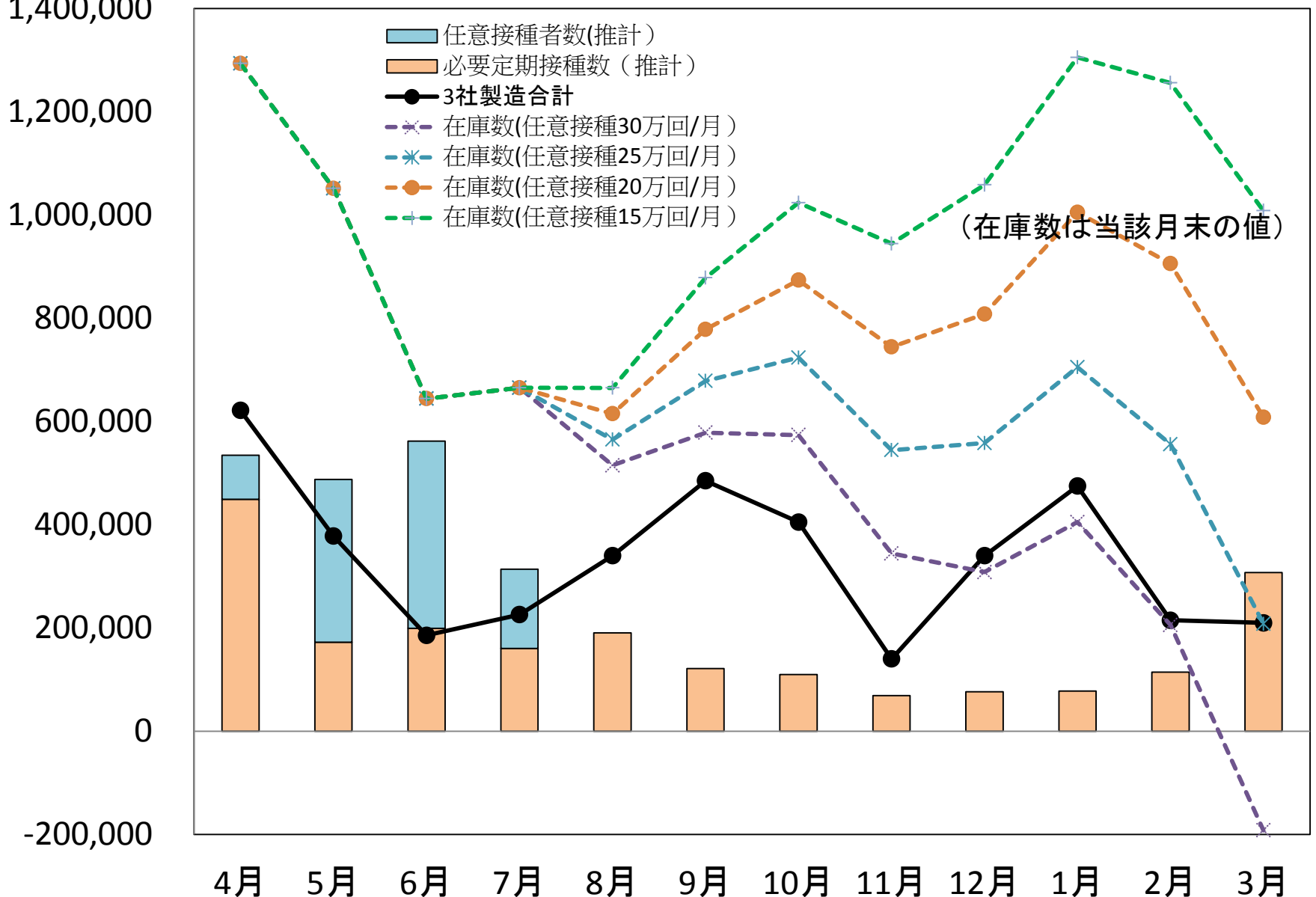
- 平成25年度の供給見込み(8月1日時点)
風しん単独ワクチン：約24.5万本(年度当初より約7万本追加)
MR混合ワクチン：約467万本*(年度当初より約107万本追加)

* うち定期接種分を210万本と想定。

風しんワクチン*需給シミュレーション

(平成25年8月1日時点**)

(本/回)



* 風しんワクチンは風しん単独ワクチンとMRワクチンの合計 **前倒し出荷・増産等の対応中であり、今後の製造合計に変動の可能性あり

任意の接種ワクチン・優先接種者について

- MRワクチンの供給量については、5月、6月の任意の予防接種者数の急激な増加により、今夏以降にMRワクチンが一時的に不足する恐れがあったが、関係者による前倒し出荷・増産等の対応や任意の予防接種者数の減少等により、今夏の全国的な不足は回避できる見込み。
- 一方、地域的な遍在等により、ワクチンが十分に行き渡っていないこともあるため、地域の状況に応じて、安定供給の目処がつくまでの間、引き続き、効果的な先天性風しん症候群の発生の予防のため、任意の予防接種について、妊婦の夫、子ども及びその他の同居家族などの、妊婦の周囲の方、10代後半から40代の女性（特に、妊娠希望者又は妊娠する可能性の高い方）が優先して接種を実施できるよう、可能な範囲での理解と協力をホームページ等を通じ依頼。